

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10584001				
授業名	福祉政策と社会保障 B	形態	講義	単位	2
担当教員	本多 敏明				
開講学期	2017年度 前学期	曜日・時限	火曜2限		
授業目的	基礎教育科目として次の3点を目的とする。① [専門用語の理解] 現代日本の社会保障体系の概要を把握したうえで、ニュースや新聞記事で用いられる基礎的な専門用語を理解できること、② [制度の理解・説明] 諸制度の基本的しくみ（特に社会保険と福祉制度のちがいを）を専門用語および自分の言葉の両方を用いて説明できること、③ [情報探索] 諸制度の今後の変化を自らでフォローできるための文献・データ・資料の所在（URL含む）を修得することを主な目的とする。なお、[ライティング] レポートを書くさいの最低限の決まりを身につけることも副次的な目的とする。				
授業内容	12講分は社会福祉の「枠内」の諸制度・政策の基本的視点、財源（と自己負担）等の課題について学ぶ。特に社会保険方式と租税方式のしくみのちがいを繰り返し教示する。その他の3講分は社会福祉の「枠外」にある社会福祉と社会保障が抱える問題群を取りあげ、今後の社会福祉と社会保障の方向性・可能性を考察する。できるだけ映像資料などを用いて講義をおこなう。なお、制度や政策のリアルタイムの変化に応じて、講義の順番および事前・事後課題の順番を変更することがあるので授業内指示に注意すること。 ※外部講師（ゲストスピーカー）は、90分授業の一部のみを担当する。				
到達目標	①社会保険方式と租税方式のしくみのちがいを理解したうえで、専門用語を適切に駆使できるとともに自らの言葉を織り交ぜて、諸制度のしくみ・概要等を文章として表現できること、②レポート作成に必要なデータ・資料・文献の所在を理解し、かつそれらへアクセスできることを目標とする。なお、レポートの基本的な作法を身につけることも合わせて目標としたい。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	基本的に講義形式で行いながら、学生に発言を求めたり、適宜、授業内容の確認のためにL I T Eを取り入れ、アクティブラーニングをとおして受講生の理解を深める。 講義前段（10分）は、前週の授業内容の要点の振り返り。 講義中段（70分）は、毎回のテーマについての講義。 講義後段（10分）は、事後学習および翌週の事前学習のポイントなどの説明。				
事前・事後学習の所要時間	各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする 合計15回の授業で事前学習合計30時間、事後学習合計30時間となる				
テキスト	結城康博・嘉山隆司・佐藤純子・本多敏明（2013）『新・よくわかる福祉事務所のしごと』ぎょうせい				
評価方法	①受講をとおした知識の伸びを確認するための第1講および第14講に2回実施する「知識確認表」（全2回）、②提出レポート（全4回）の質、および③授業内の質問や発言などの授業貢献度を踏まえた「総合自己評価」により総合的に判断する。なお、出席に関して、学生証を忘れた場合のメモによる出席は2回まで認める（3回目からは認めない）ので学生証はいつも携帯すること。				
評価基準	①「知識確認表」（初回と終盤）の比較（30点）、②提出レポート（60点）、③「総合自己評価」（10点）の合計100点。①は「知識確認評価表」に基づいて評価。②は「提出レポート評価表」に基づいて評価。なお、提出レポート課題は第3・5・8・11回の事後学習欄に記載してある。③は「総合自己評価表」に基づいて評価。以上の評価表の配布および詳細な説明を第1講におこなうので、受講希望者は必ず出席するようお願いしたい。				
試験・レポート等のフィードバック	「提出レポート」（4回）は添削して返却する。 「知識確認表」は2回分をスキャンして返却する。				
注意事項及び履修条件	とくになし				
S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満					
第1回					
事前学習	シラバスの内容を把握する。教科書「序章」と「終章」を読み、キーワードや要点に印をつけたり（下線を引いたり丸をつける）、分からない語句を調べて教科書の余白などにメモする。				
授業内容	オリエンテーション。①授業内容・評価方法・評価基準などについて学生と教員が意思疎通する。②授業内容に関するL I T Eをおこなう。③「知識確認表（初回）」の説明、実施、提出。				
事後学習	①資料ファイリング（シラバス、「評価表」（4種））。②シラバスを改めて通読。③教科書「序章」と「終章」を読み直し、キーワードや要点に印をつけたり、分からない語句を調べて教科書の余白などにメモしておく。				
参考文献	結城康博・吉田佳代子・宮崎雅人（2009）『これで納得 社会保障制度』ぎょうせいの「序章」				

第2回	
事前学習	配布プリント（社会保障概要）を通読し、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べてプリントの余白などにメモする。
授業内容	社会保障制度の概要。①社会保険と福祉制度のしくみと財源のちがいを理解する。
事後学習	①ファイリング（レジユメ、プリント）。②配布プリント（社会保障概要）を読み直し、社会保険と福祉制度のちがいを復習する。キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べて教科書やプリントの余白などにメモする。
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎（2013）『はじめての社会保障（第10版）』有斐閣アルマ 「序章」
第3回	
事前学習	配布プリント（年金）を読み、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べて教科書の余白などにメモしておく。
授業内容	公的年金制度。①国民皆年金のしくみを理解する。②公的年金制度の種類を理解する。③「提出レポートの決まり」を理解する。
事後学習	①ファイリング（レジユメ、プリント、「提出レポートの決まり」）。②「提出レポートの決まり」を熟読。③【提出レポート1】日本年金機構のホームページ <a href="http://www.nenkin.go.jp/pamphlet/seido-shikumi.html">http://www.nenkin.go.jp/pamphlet/seido-shikumi.html</a> から「知っておきたい年金のはなし（平成28年10月作成）」を探し、その内容を提出レポート（A4 2~3枚目安）にまとめる【要提出】
参考文献	細野真宏（2009）『「未納が増えると年金が破綻する」って誰が言った?』扶桑社新書
第4回	
事前学習	配布プリント（医療保険）を読み、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べて教科書の余白などにメモしておく。
授業内容	公的医療保険。①国民皆保険のしくみを理解する。②公的医療保険の種類を理解する。③【提出レポート1】の提出。
事後学習	①ファイリング（レジユメ、プリント）。②自分（の家族）が加入している公的医療保険の名称、全加入者数、窓口自己負担割合を親などの協力のもと調べ、配布プリント（医療保険）の余白部分に書き込む。
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎（2012）『はじめての社会保障（第10版）』有斐閣アルマ 「第1章」
第5回	
事前学習	教科書「第4章」と「第11章」を読み、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べて教科書の余白などにメモしておく。
授業内容	高齢者福祉と介護保険制度。①介護保険制度のしくみと財源を理解する。②要介護認定のしくみを理解する。
事後学習	①ファイリング（プリント、【提出レポート1】返却）。②【提出レポート2】厚生労働省「介護保険事業状況報告 月報（暫定版）」 <a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/0103/tp0329-1.html">http://www.mhlw.go.jp/topics/0103/tp0329-1.html</a> から最新の月報データを参考に、全国および自分の居住市町村の要介護認定者数（割合）を要介護度別にまとめ、得た知見を提出レポートにまとめる【要提出】
参考文献	藤井賢一郎・東京都社会福祉協議会（2013）『介護保険制度とは（改訂第12版）』東京都社会福祉協議会
第6回	
事前学習	配布プリント（雇用保険と労災）を読み、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べて教科書の余白などにメモしておく。ただし、分量が多いので、事後学習と合わせてよい。
授業内容	雇用保険制度と労働者災害補償保険。①雇用保険制度のしくみおよび給付の種類を理解する。②労災保険のしくみおよび給付の種類を理解する。③【提出レポート2】の提出。
事後学習	①ファイリング（レジユメ、プリント）。②配布プリント（雇用保険と労災）を改めて通読し、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べて教科書の余白などにメモする。
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎（2012）『はじめての社会保障（第9版）』有斐閣アルマ 「第5、6章」
第7回	
事前学習	教科書「第3章」を読み、キーワードや要点に記をつけたり、分からない語句などを教科書の余白などにメモしておく。
授業内容	障害者総合支援法の概要。①障害者関連制度改正の推移を理解する。②障害者総合支援法の基本理念を理解する。
事後学習	①ファイリング（プリント、事前学習）。②参考文献のどちらか一冊の関心のある1章分を読み、授業内容の理解を深める。
参考文献	杉本章（2008）『障害者はどう生きてきたか』現代書館。山下幸子（2008）『「健常」であることを見つめる』生活書院
第8回	
事前学習	①これまでのファイリング資料の整理。②障害者の楽しみ活動の概要を理解する。

授業内容	障害者の楽しみ活動について。①「障害者の楽しみ活動」の概要を知る。
事後学習	①ファイリング（プリント、【提出レポート2】返却）。②【提出レポート3】支援費制度、自立支援法、障害者総合支援法それぞれの利用者の自己負担のしくみの変化をA4 1～2枚にまとめる【要提出】
参考文献	
第9回	
事前学習	障害者の楽しみ活動がもつ課題と可能性についてA4 1枚にまとめる（提出不要）
授業内容	外部講義（吉野徹氏）。①引き続き、「障害者の楽しみ活動」をなさっている方をお呼びして社会福祉の性格、課題を考察する。②【提出レポート3】提出。※外部講師（ゲストスピーカー）は、90分授業の一部分のみを担当する。
事後学習	①ファイリング（事前学習、プリント）。②ゲスト講義の感想をA4 1枚以内にまとめる（提出は任意）。
参考文献	
第10回	
事前学習	教科書「第5章」「第6章」「第7章」を読み、要点やキーワードに記を付けたり、わからない語句などを調べて、教科書の余白などにメモしておく。
授業内容	児童福祉（児童虐待の防止）。①児童福祉法の概要を理解する。②児童虐待防止法の変遷の概要を理解する。
事後学習	①ファイリング（レジュメ）。②講義内容を復習し児童虐待への対応についての考えをA4 1枚にまとめる（提出不要）。
参考文献	西澤哲（2010）『子ども虐待』講談社新書。阿部彩（2014）『子どもの貧困Ⅱ』岩波新書。
第11回	
事前学習	教科書「第1章」「第2章」を読み、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べて教科書の余白などにメモしておく。
授業内容	生活保護。①生活保護のしくみと財源を理解する。②「第二のセーフティネット」の概要を理解する。
事後学習	①ファイリング（プリント、【提出レポート3】返却）。②【提出レポート4】厚生労働省「生活困窮者自立支援制度」の「制度紹介リーフレット（1～3ページ）」 <a href="http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12000000-Shakaiengokyoku-Shakai/jiritsu_leaflet_low_H1_1.pdf">http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12000000-Shakaiengokyoku-Shakai/jiritsu_leaflet_low_H1_1.pdf</a> <a href="http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12000000-Shakaiengokyoku-Shakai/jiritsu_leaflet_low_H2.pdf">http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12000000-Shakaiengokyoku-Shakai/jiritsu_leaflet_low_H2.pdf</a> <a href="http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12000000-Shakaiengokyoku-Shakai/jiritsu_leaflet_low_H3.pdf">http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12000000-Shakaiengokyoku-Shakai/jiritsu_leaflet_low_H3.pdf</a> をよく読み、制度の概要をまとめるとともに、自らの感想をA4 2～3枚にまとめる。
参考文献	藤田孝典他（2010）『反貧困のソーシャルワーク実践』明石書店。湯浅誠（2008）『反貧困——「すり台社会」からの脱出』岩波新書
第12回	
事前学習	配布プリント（社会手当）を読み、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べて教科書の余白などにメモしておく
授業内容	社会手当。①社会手当のしくみ。②社会手当の種類。③【提出レポート4】提出
事後学習	①ファイリング（プリント）。②配布プリント（社会手当）を読み直し、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べて教科書の余白などにメモしておく。
参考文献	
第13回	
事前学習	「社会的企業（社会起業）」または「コミュニティ・ビジネス」について調べ、A4 1枚にまとめる（提出不要）。知識確認表（終盤）の実施に向けて、講義ファイリング資料を見直す。
授業内容	社会福祉の拡大。①低所得の問題とマイクロファイナンスの取り組みを手がかりに、社会福祉の拡大の可能性を理解する。
事後学習	①ファイリング（事前学習、プリント、【提出レポート4】返却）。②教科書「終章」を読み直し、キーワードや要点に記を付けたり、わからない語句などを調べて教科書の余白にメモしておく。
参考文献	
第14回	
事前学習	知識確認表（終盤）の実施に向けて、講義ファイリング資料を見直す。
授業内容	①知識確認表（終盤）の説明、実施、提出。②「総合自己評価表」の説明、実施、提出。
事後学習	①知識確認表（終盤）の反省をおこない、本講義をとおして自分が何をすることができ、何ができるようになったかを自己評価する。
参考文献	

第15回	
事前学習	まとめ。①本講義の授業や課題にどれだけ主体的に取り組むことができたか、受講によってどれだけ知識が増え視野が広がったかを自分で評価する。
授業内容	①ファイリング（プリント。「知識確認表」（終盤）返却、「総合自己評価表」返却）。
事後学習	本講義を受講して自分が何を知ることができ、何ができるようになったかを親や友人に聞いてもらう。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>&lt;DP-1&gt;  <b>【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】</b>          社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p>&lt;DP1-（1）&gt;          日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-（2）&gt;          情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-（3）&gt;          問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-（4）&gt;          人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>
-----------	---